

GLP-1製剤ビデュリオンの使用例

症例 1

DPP-4阻害剤からビデュリオンへの切り替え

78歳 女性 認知症 HDS-R 17点

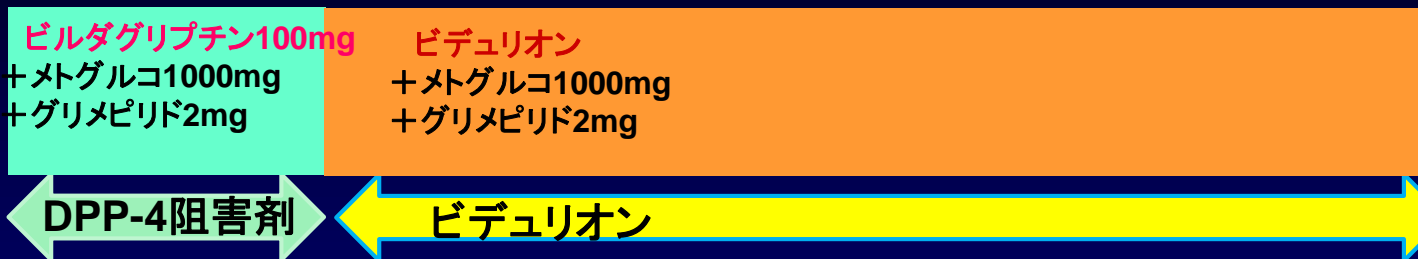
糖尿病罹病期間15年

・主訴: 血糖コントロール不良

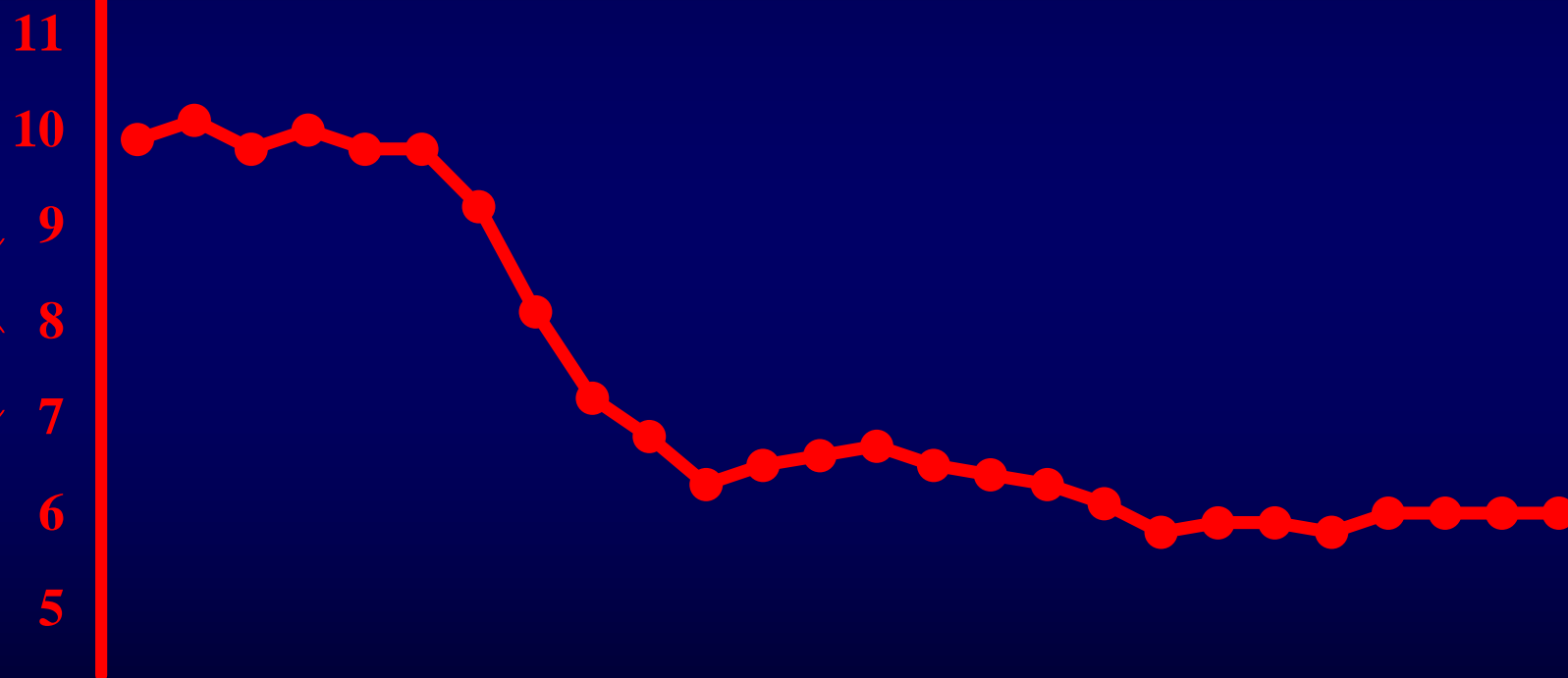
- ・身長: 152 cm ・体重: 58.4kg
- ・BMI: 25.3kg/m² ・HbA1c: 9.8 %
- ・CPI 1.6 ・S-CPR 2.7ng/ml
- ・LDL-C: 185mg/dl ・BUN: 24.3mg/dl
- ・Cre: 0.9mg/d ・尿Alb 18.0mg/g・cre
- ・単純網膜症、神経障害(+)、腎症(-)
- ・合併症: 認知症、高血圧、脂質異常症
- ・DM治療: ビルダグリプチン50mg、
 メトグルコ1000mg、グリメピリド2mg、
- ・合併症治療薬: アリセプトD、アダラートCR、
 アトルバスタチン、エパルレスタット、
 牛車腎気丸
- ・現病歴:

HbA1c 9.9% (H25.5) ⇒ 10.0% (H25.7) ⇒ 9.8% (H25.8)

Case 1 78歳女 認知症 BMI 25.3kg/m² (DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン切り替え例)



HbA1c (%) (NGSP値)



H25.5月

8月

H26.1月

H27.1月

5月

Case 1 78歳女 認知症 BMI 25.3kg/m² (DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン切り替え例)

ビルダグリプチン100mg
+メトグルコ1000mg
+グリメピリド2mg

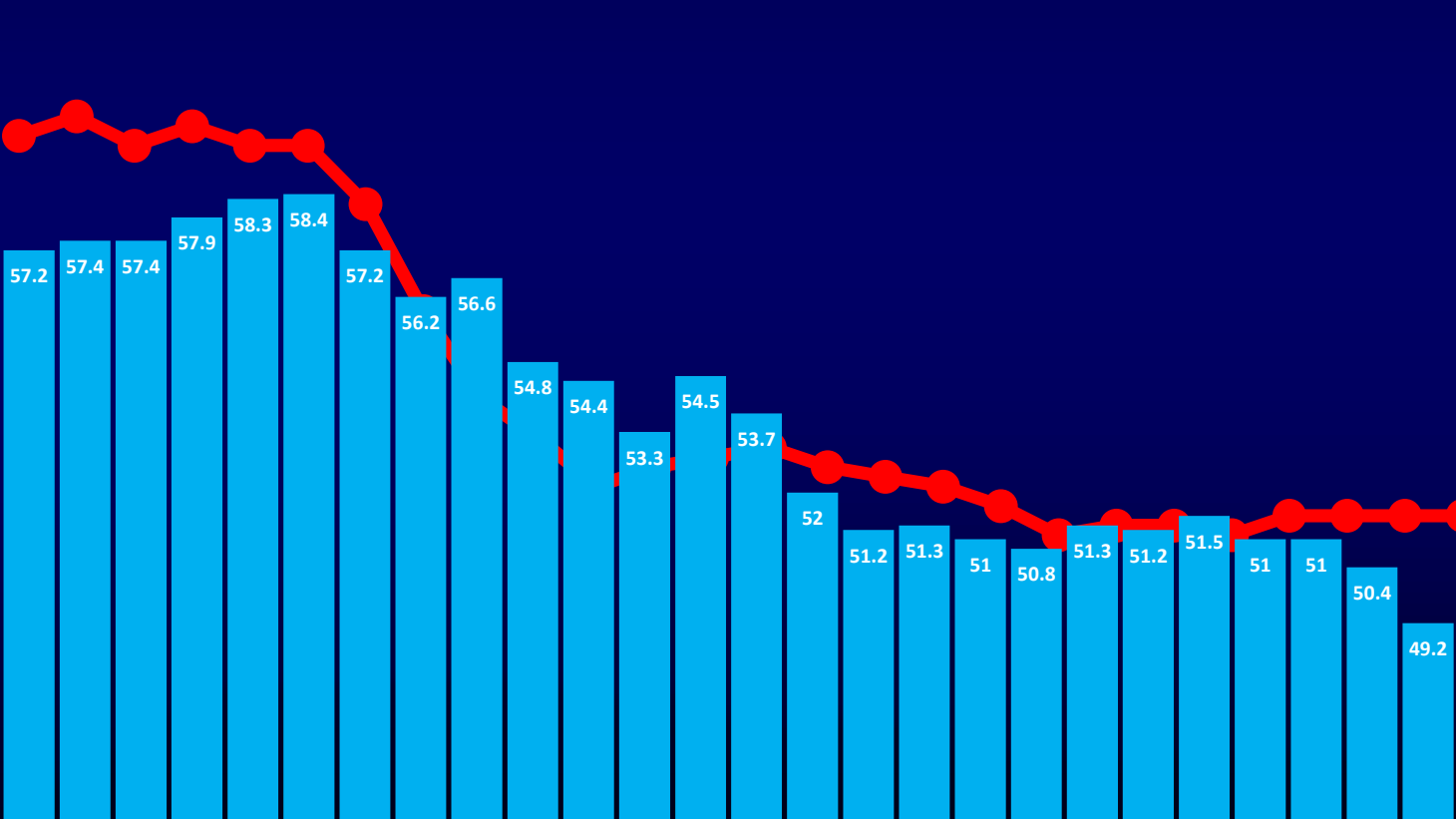
ビデュリオン
+メトグルコ1000mg
+グリメピリド2mg

DPP-4阻害剤

ビデュリオン

HbA1c (%) (NGSP値)

11
10
9
8
7
6
5



60

55

50

45

体重 (kg)

H25.5月

8月

H26.1月

H27.1月

5月

認知症テスト

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

検査日: 2025年5月13日

(検査者:)

氏名	生年月日: 511年7月10日	年齢: 76歳
性別: 男/女	教育年数 (年数で記入): 年	検査場所: おおむら内科
DIAG:	(備考)	

1	お歳はいくつですか? (2年までの誤差は正解)	0	1	①
2	今日は何年の何月何日ですか? 何曜日ですか? (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	+年	0	1
		5月	0	1
		17日	0	1
		金曜日	0	1
3	私たちがいまいるところはどこですか? (自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか? 病院ですか? 施設ですか? のなから正しい選択をすれば1点)	0	1	②
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1: a) 梨 b) 猫 c) 電車 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車	0	1	①
		0	0	1
		0	0	1
		0	0	1
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は?、それからまた7を引くと? と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(93)	0	1
		(86)	0	1
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2、3-5-2-9を逆に言うってもらう。3桁逆位に失敗したら、打ち切る)	2-8-6	0	1
		9-2-5-3	0	1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合以下のヒントを全文正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a: 0	1	②
		b: 0	1	②
		c: 0	1	②
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか言ってください。 (時計、糖、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの)	0	1	②
		3	4	5
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く書いてください。(答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒間待ってもでない場合にはそこで打ち切る) 0~5=0点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点	0	1	②
		3	4	5

合計得点 17

改訂 長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

検査日: 26年7月10日

(検査者:)

氏名	生年月日: 11年7月10日	年齢: 78歳
性別: 男/女	教育年数 (年数で記入): 年	検査場所: おおむら内科
DIAG:	(備考)	

1	お歳はいくつですか? (2年までの誤差は正解)	0	1	①
2	今日は何年の何月何日ですか? 何曜日ですか? (年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ)	年	0	1
		月	0	1
		日	0	1
		曜日	0	1
3	私たちがいまいるところはどこですか? (自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか? 病院ですか? 施設ですか? のなから正しい選択をすれば1点)	0	1	②
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。 (以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく) 1: a) 梨 b) 猫 c) 電車 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車	0	0	1
		0	0	1
		0	0	1
		0	0	1
5	100から7を順番に引いてください。(100-7は?、それからまた7を引くと? と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る)	(93)	0	1
		(86)	0	1
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。(6-8-2、3-5-2-9を逆に言うってもらう。3桁逆位に失敗したら、打ち切る)	2-8-6	0	1
		9-2-5-3	0	1
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 (自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合以下のヒントを全文正解であれば1点) a) 植物 b) 動物 c) 乗り物	a: 0	1	②
		b: 0	1	②
		c: 0	1	②
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか言ってください。 (時計、糖、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの)	0	1	2
		3	4	5
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く書いてください。(答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒間待ってもでない場合にはそこで打ち切る) 0~5=0点、6=1点、7=2点、8=3点、9=4点、10=5点	0	1	②
		3	4	5

合計得点 19

Case 1 の 要約

- 認知症のある高齢者で、DPP-4阻害薬を含めた多剤の経口血糖降下薬服用で糖尿病コントロール不良(HbA1c10%台)



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院
(本人は注射しなくてよい)



- HbA1c6%台に改善、8kgの減量、認知症の改善に成功

症例 2

DPP-4阻害剤からビデュリオンへの切り替え

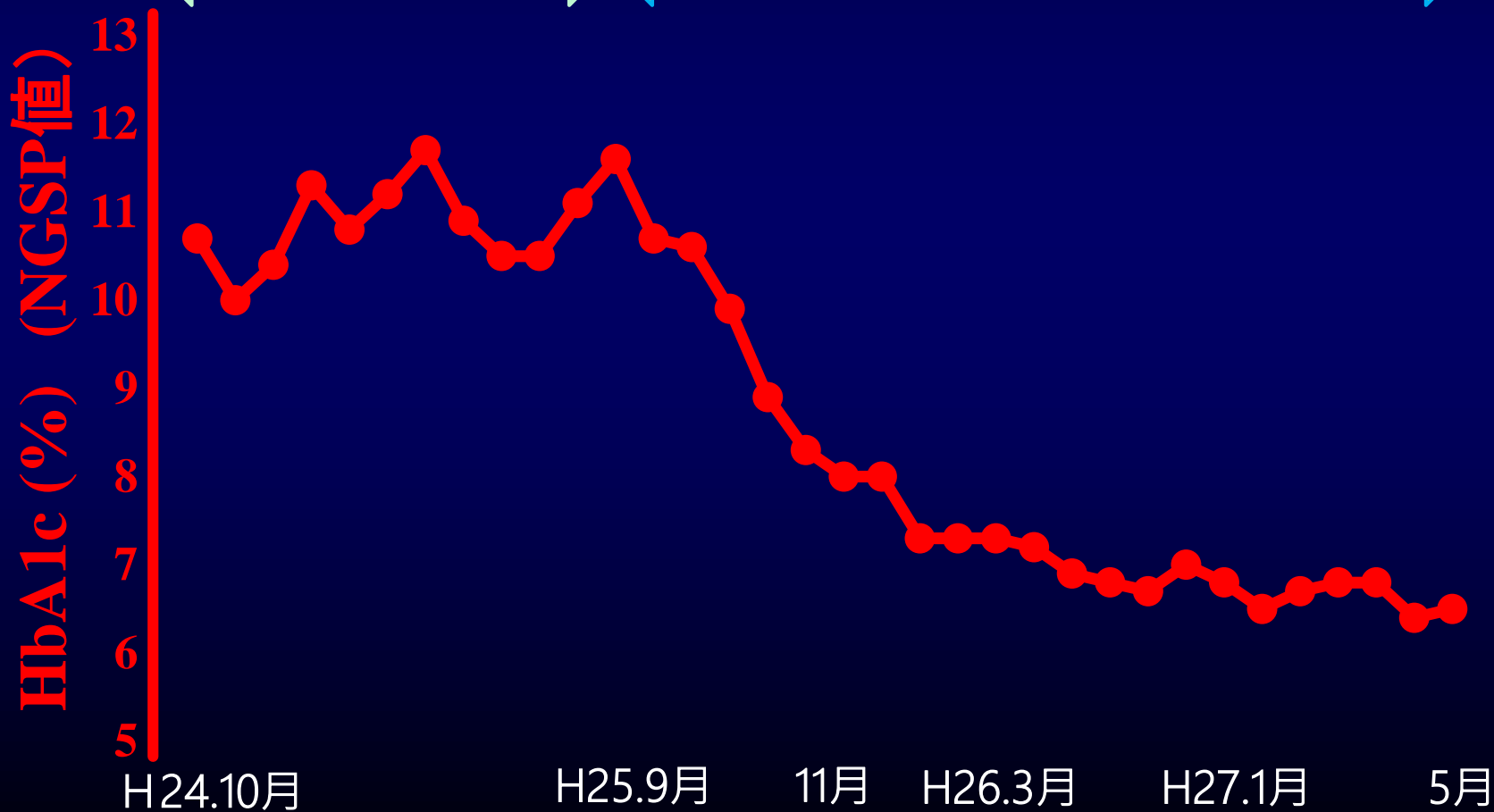
74歳 男性 認知症 HDS-R 19点

糖尿病罹病期間20年

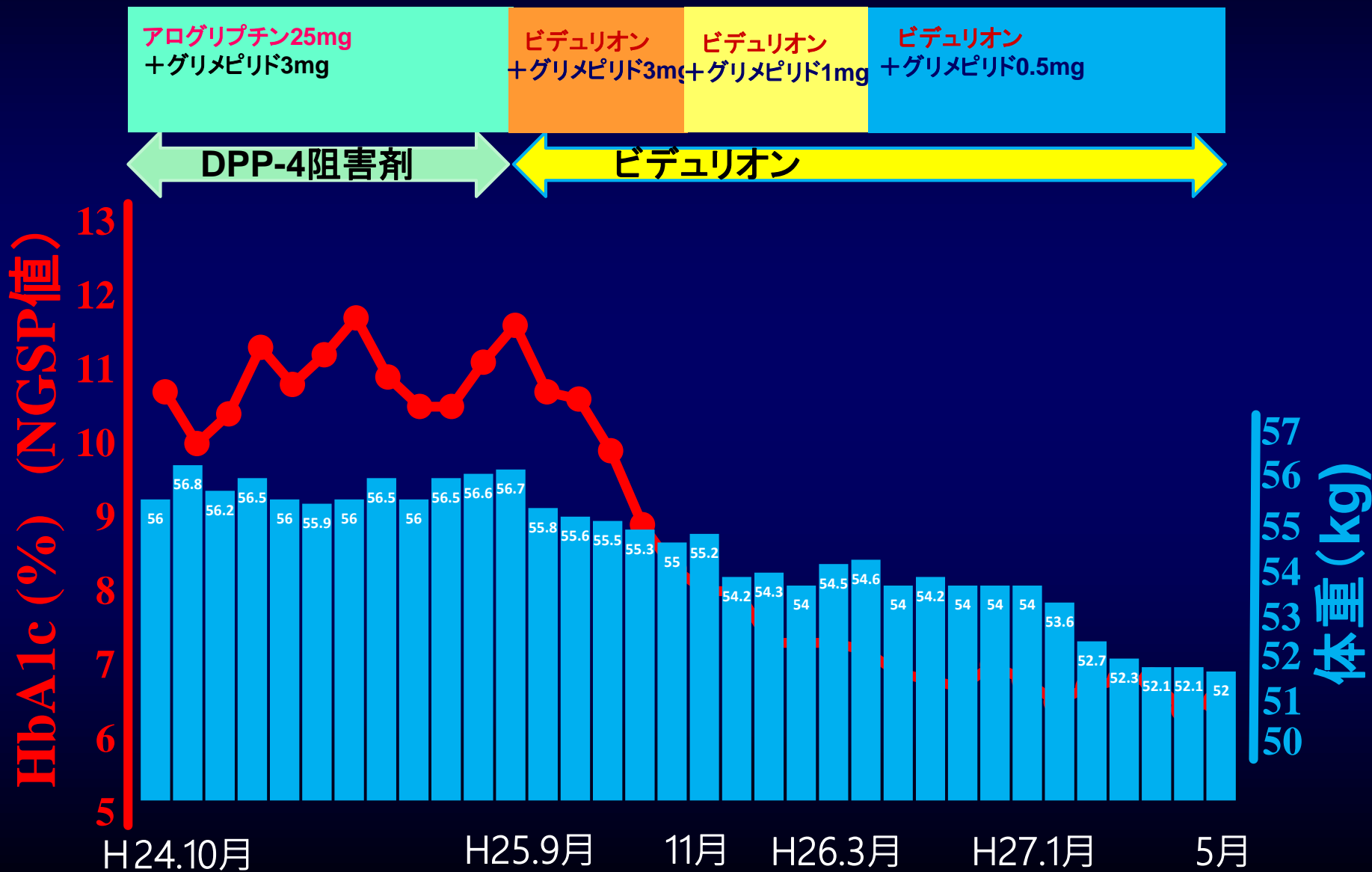
- 主訴: 血糖コントロール不良
- 身長: 147 cm ▪ 体重: 56.7kg
- BMI: 26.0kg/m² ▪ HbA1c: 11.6 %
- CPI 1.4 ▪ S-CPR 3.2ng/ml
- LDL-C: 182mg/dl ▪ BUN: 21.2mg/dl
- Cre: 0.6mg/d ▪ 尿Alb 45.8mg/g・cre
- 単純網膜症、神経障害(-)、腎症2期
- 合併症: 認知症、脂質異常症、慢性硬膜下血腫
- DM治療: グリメピリド0.5mg
- 合併症治療薬: アリセプトD、アトルバスタチン
- 現病歴:

HbA1c10.7%(H24.10)⇒11.1%(H25.2)⇒11.6%(H25.9)

Case 2 74歳男 認知症 BMI 26.0kg/m² (DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 2 74歳男 認知症 BMI 26.0kg/m² (DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 2 の 要約

- 認知症のある高齢者で、DPP-4阻害薬を含めた経口血糖降下薬服用で糖尿病コントロール不良 (HbA1c10%台)



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院
(本人は注射しなくてよい)



- HbA1c6%台に改善、4kgの減量に成功

症例 3

DPP-4阻害剤からビデュリオンへの切り替え

72歳 女性

糖尿病罹病期間25年

• **主訴: 体重増加**

- 身長: 152 cm
- BMI: 25.4kg/m²
- CPI 1.4
- LDL-C: 178mg/dl
- Cre: 0.5mg/d
- 前増殖網膜症、神経障害(+)、腎症(-)
- 合併症: 脂質異常症、骨粗鬆症
- DM治療: グリメピリド1mg、ピオグリタゾン15mg
- 合併症治療薬: アトルバスタチン、ボンビバ注
- 現病歴:

▪ 体重: 58.7kg

▪ HbA1c: 7.2 %

▪ S-CPR 2.3ng/ml

▪ BUN: 22.4mg/dl

▪ 尿Alb 13.1mg/g・cre

BW 54.4kg (H25.3) ⇒ 56.8kg (H25.7) ⇒ 58.7kg (H25.10)

Case 3 72歳女 BMI 25.4kg/m² (DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン切り替え例)

リオベルLD(ネシーナ + ピオグリタゾン)
+グリメピリド1mg

ピオグリタゾン15mg
+グリメピリド1mg

DPP-4阻害剤

ビデュリオン

HbA1c (%) (NGSP値)

7.5
7.0
6.5

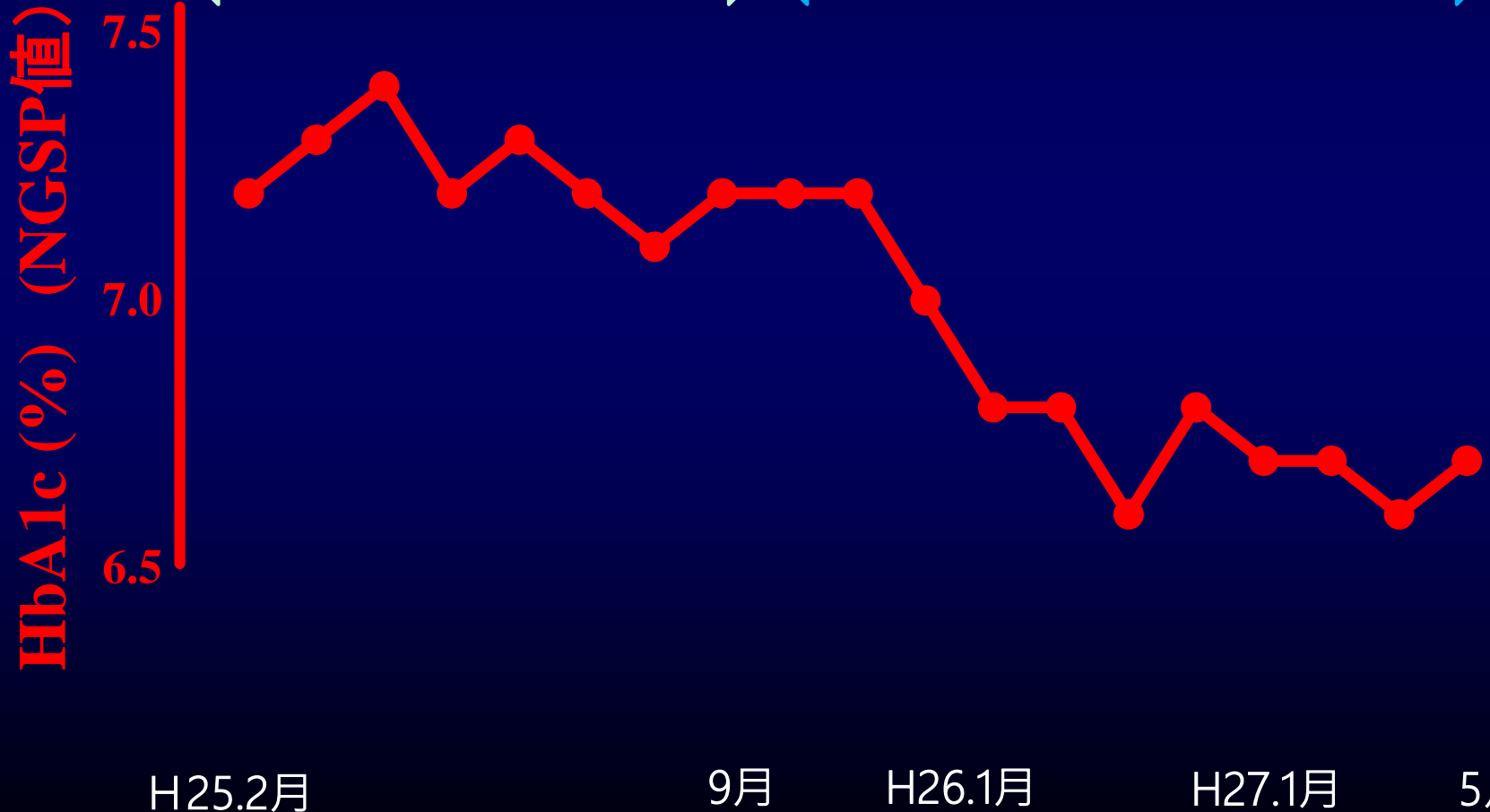
H25.2月

9月

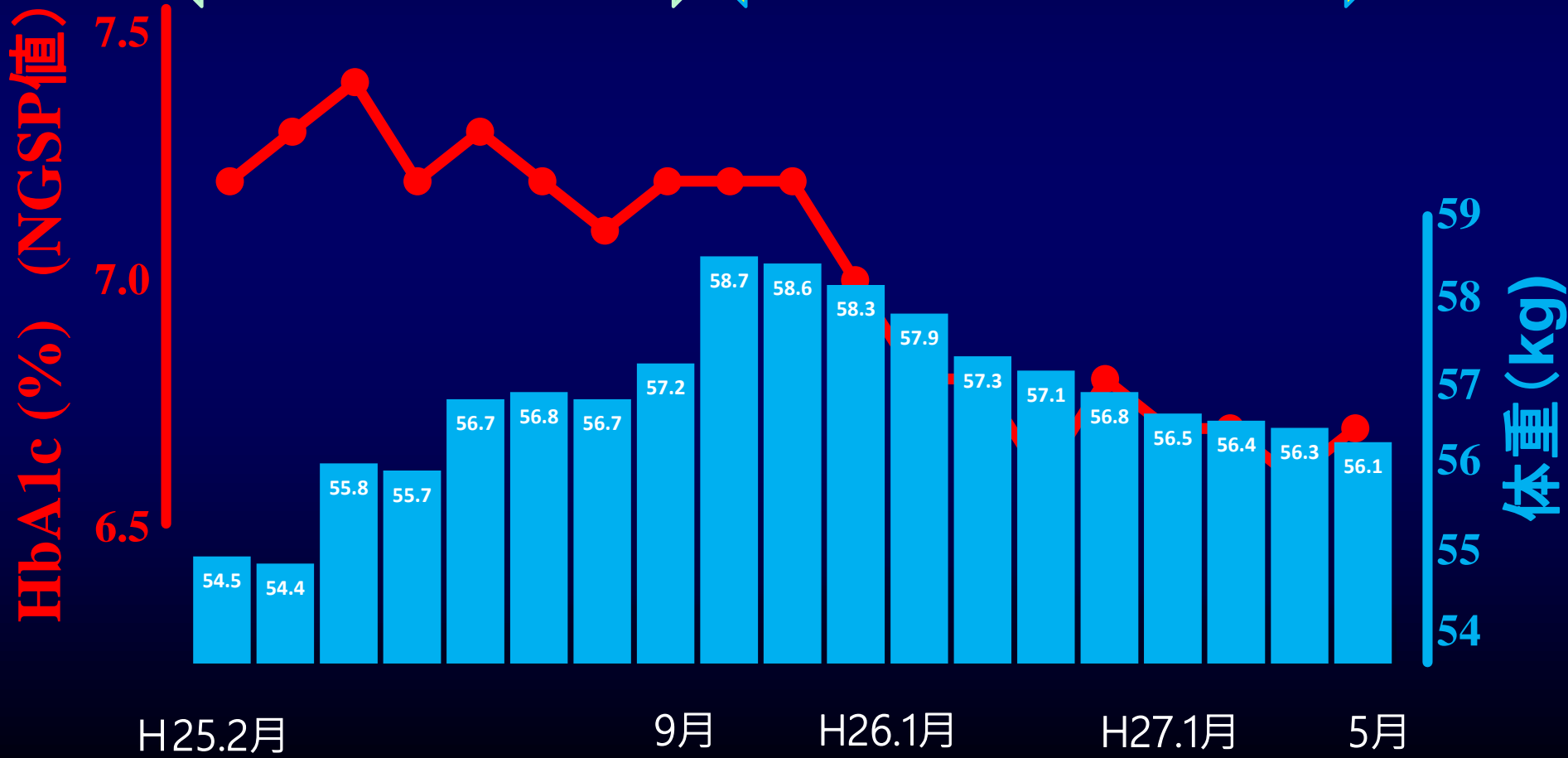
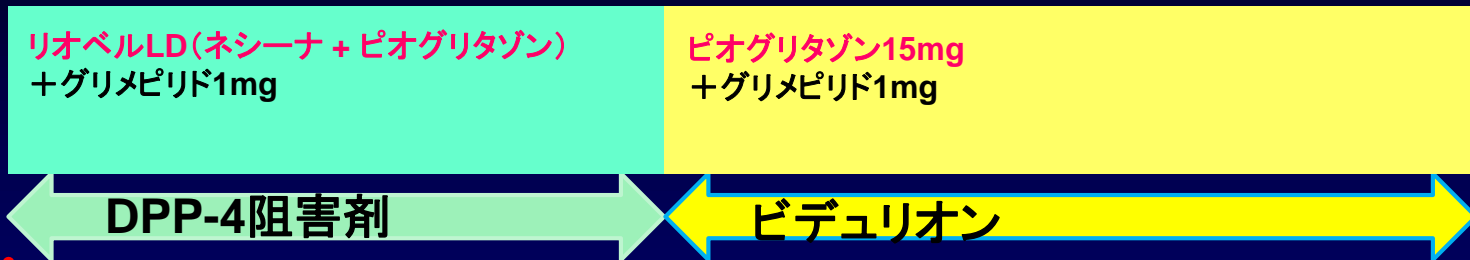
H26.1月

H27.1月

5月



Case 3 72歳女 BMI 25.4kg/m² (DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 3 の 要約

- 高齢者で、DPP-4阻害薬を含めた経口血糖降下薬服用で
体重の増加が著しい



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院
(本人は注射しなくてよい)



- HbA1c6%台に改善、2.5kgの減量に成功

症例 4

インスリンからビデュリオンへの切り替え

72歳 女性

糖尿病罹病期間18年

• **主訴: 血糖コントロール不良、体重増加**

▪ 身長: 153cm

▪ 体重: 65.1kg

▪ BMI: 27.8kg/m²

▪ HbA1c: 12.2 %

▪ CPI 1.3

▪ S-CPR 2.5ng/ml

▪ LDL-C: 131mg/dl

▪ BUN: 15.2mg/dl

▪ Cre: 0.4mg/d

▪ 尿Alb 10.5mg/g・cre

▪ 前増殖網膜症、神経障害(+)、腎症(-)

▪ 合併症: 高血圧、脂質異常症、脳梗塞後遺症

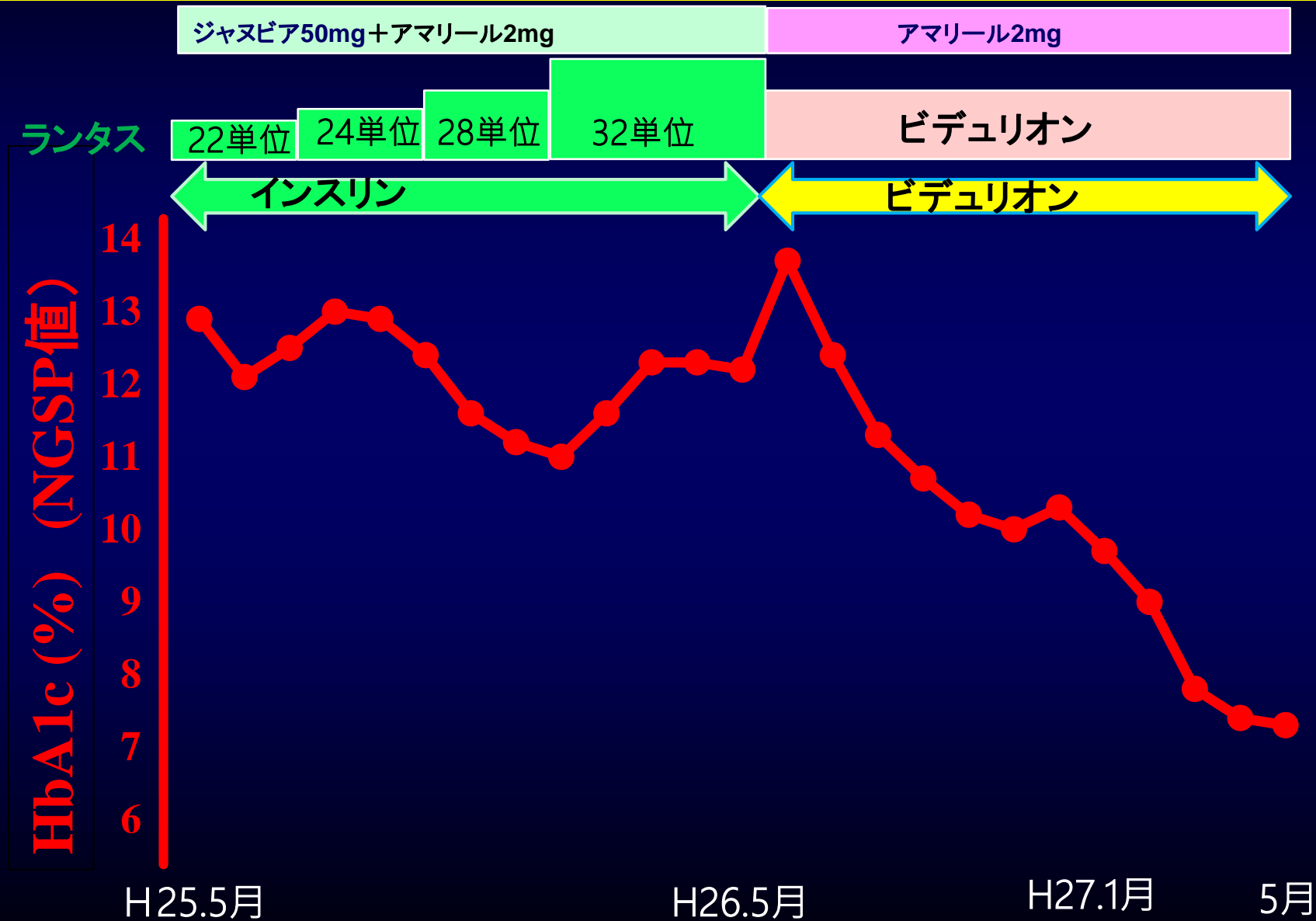
▪ DM治療: グリメピリド2mg

▪ 合併症治療薬: バルサルタン、アトルバスタチン、
バイアスピリン、プレタール

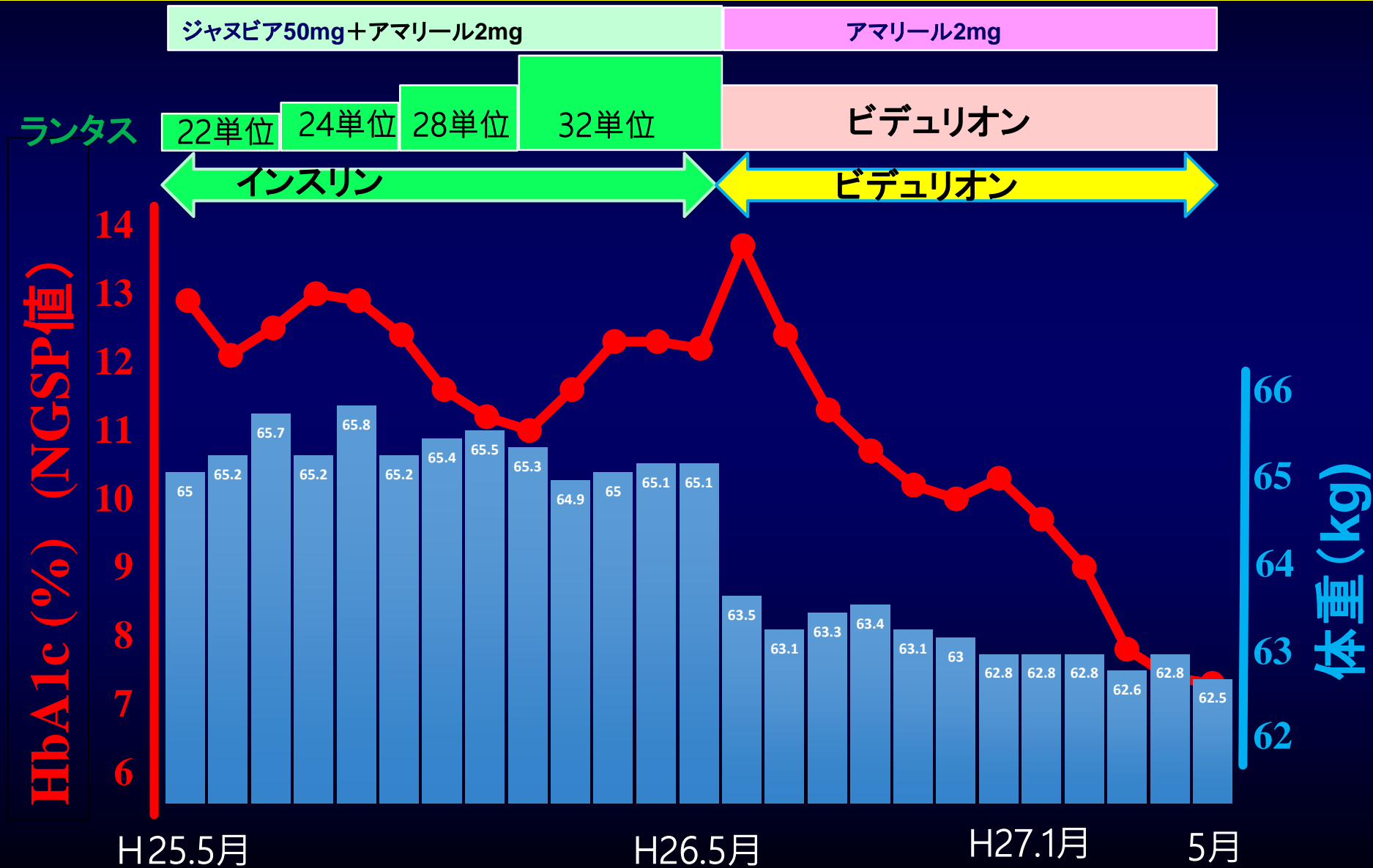
▪ 現病歴:

HbA1c12.9%(H25.5)⇒11.6%(H26.1)⇒12.2%(H26.5)

Case 4 72歳女 BMI 27.8kg/m² (インスリン⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 4 72歳女 BMI 27.8kg/m² (インスリン⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 4 の 要約

- 高齢者で、インスリン治療(BOT)にても糖尿病コントロール不良(HbA1c10%以上)



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院に切り替え
(本人は注射しなくてよい)



- HbA1c6%台に改善、3kgの減量に成功

症例 5

インスリン⇒ビデュリオン⇒
ビデュリオン+SGLT2阻害剤併用例

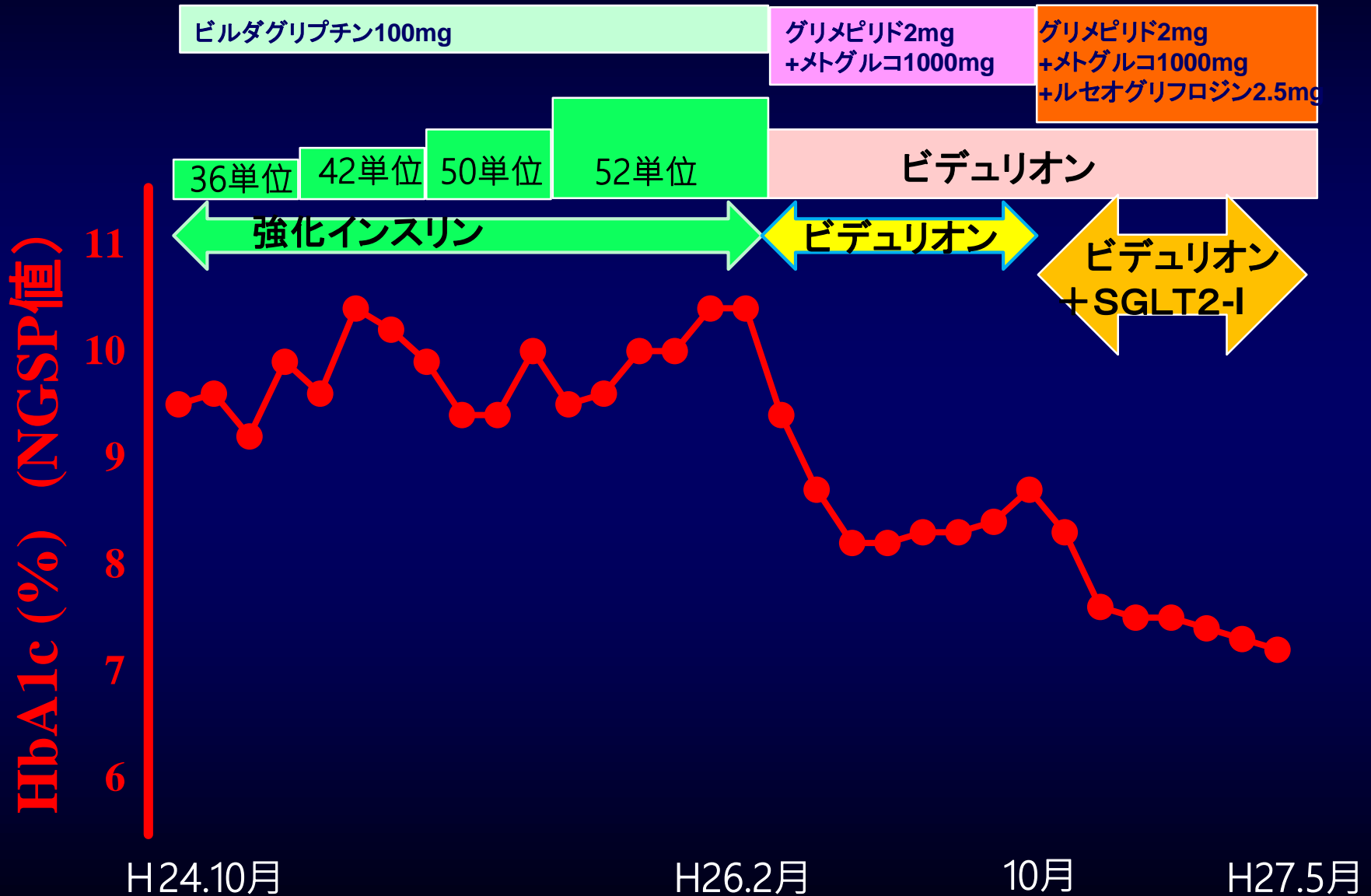
63歳 女性
糖尿病罹病期間15年

- ・ 主訴: 血糖コントロール不良
- ・ 身長: 142cm
- ・ 体重: 50.8kg
- ・ BMI: 25.3kg/m²
- ・ HbA1c: 10.4%
- ・ CPI 1.1
- ・ S-CPR 1.3ng/ml
- ・ LDL-C: 128mg/dl
- ・ BUN: 23.0mg/dl
- ・ Cre: 0.5mg/d
- ・ 尿Alb 12.2mg/g・cre
- ・ 単純網膜症、神経障害(+)、腎症(-)
- ・ 合併症: 脂質異常症
- ・ DM治療: メトグルコ1000mg、グリメピリド2mg
- ・ 合併症治療薬: ピタバスタチン
- ・ 現病歴:

HbA1c9.5%(H24.10)⇒9.9%(H25.5)⇒10.4%(H26.2)

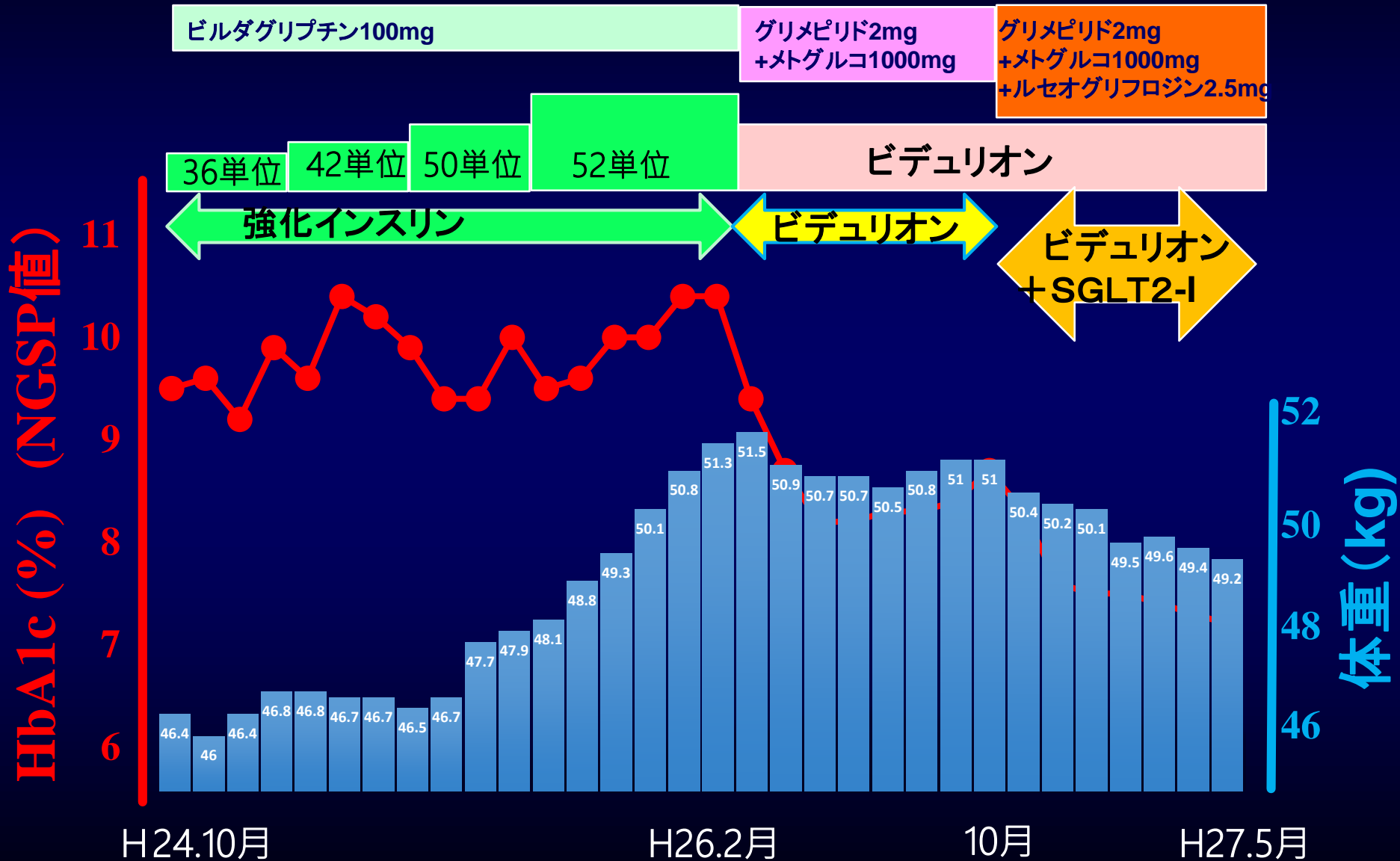
Case 5 63歳女 BMI 25.3kg/m²

(インスリン⇒ビデュリオン⇒ビデュリオン+SGLT阻害剤)



Case 5 63歳女 BMI 25.3kg/m²

(インスリン⇒ビデュリオン⇒ビデュリオン+SGLT阻害剤)



Case 5 の 要約

- 強化インスリン治療にても糖尿病コントロール不良
(HbA1c10%以上)



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院に切り替え
(本人は注射しなくてよい) + SGLT2阻害剤併用



- HbA1c6%台に改善、2kgの減量に成功

症例 6

ビクトーザからビデュリオンへの切り替え

32歳 女性

糖尿病罹病期間5年

・主訴: 血糖コントロール不良、体重増加

・身長: 161cm

・体重: 105.2kg

・BMI: 40.5kg/m²

・HbA1c: 9.1%

・CPI 3.1

・S-CPR 2.4ng/ml

・LDL-C: 125mg/dl

・BUN: 15.0mg/dl

・Cre: 0.3mg/d

・尿Alb 12.2mg/g・cre

・網膜症(-)、神経障害(-)、腎症(-)

・合併症: 脂肪肝、橋本病、躁うつ病

・DM治療: ピオグリタゾン15mg

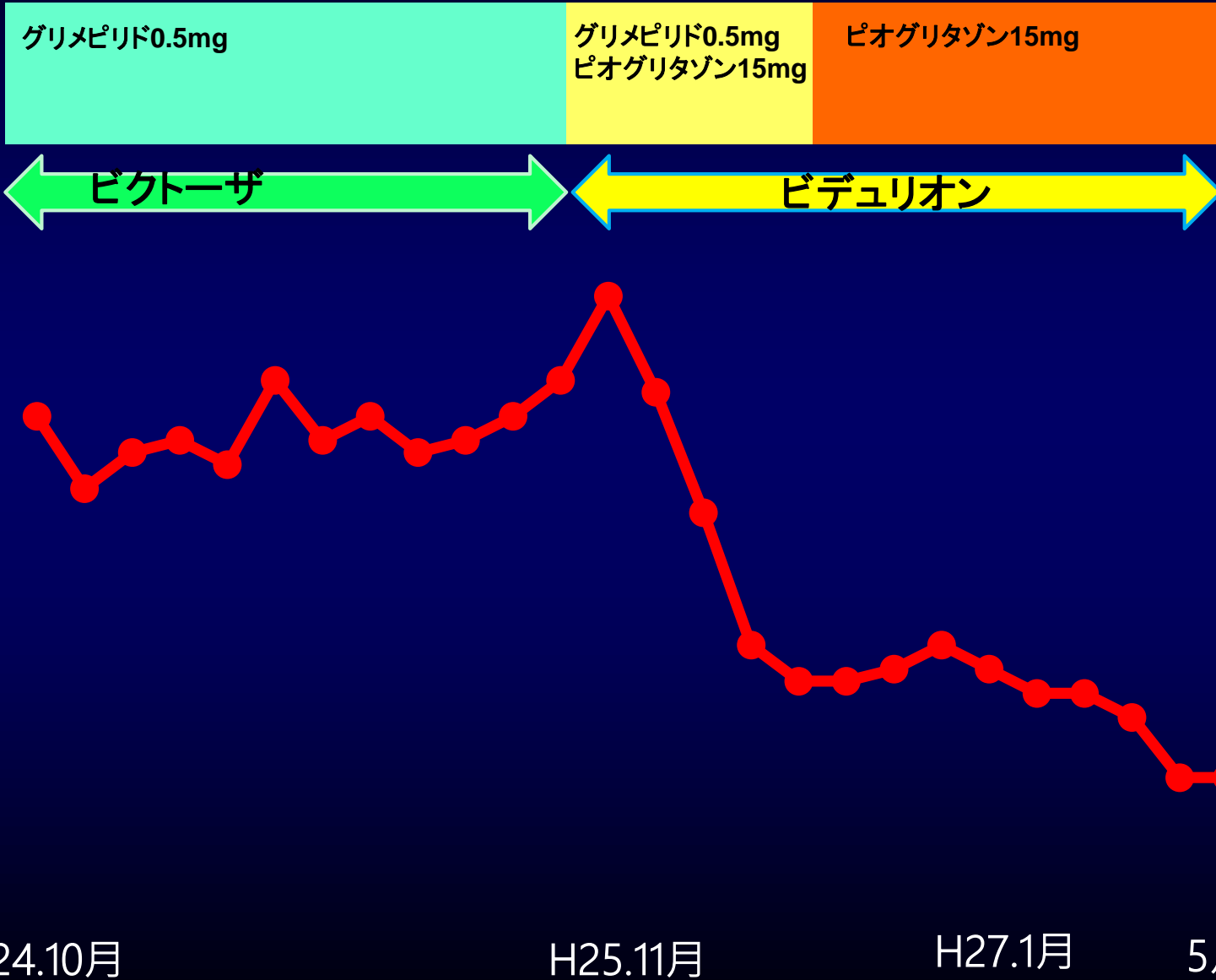
・合併症治療薬: エゼチミブ、チラーヂンS

・現病歴:

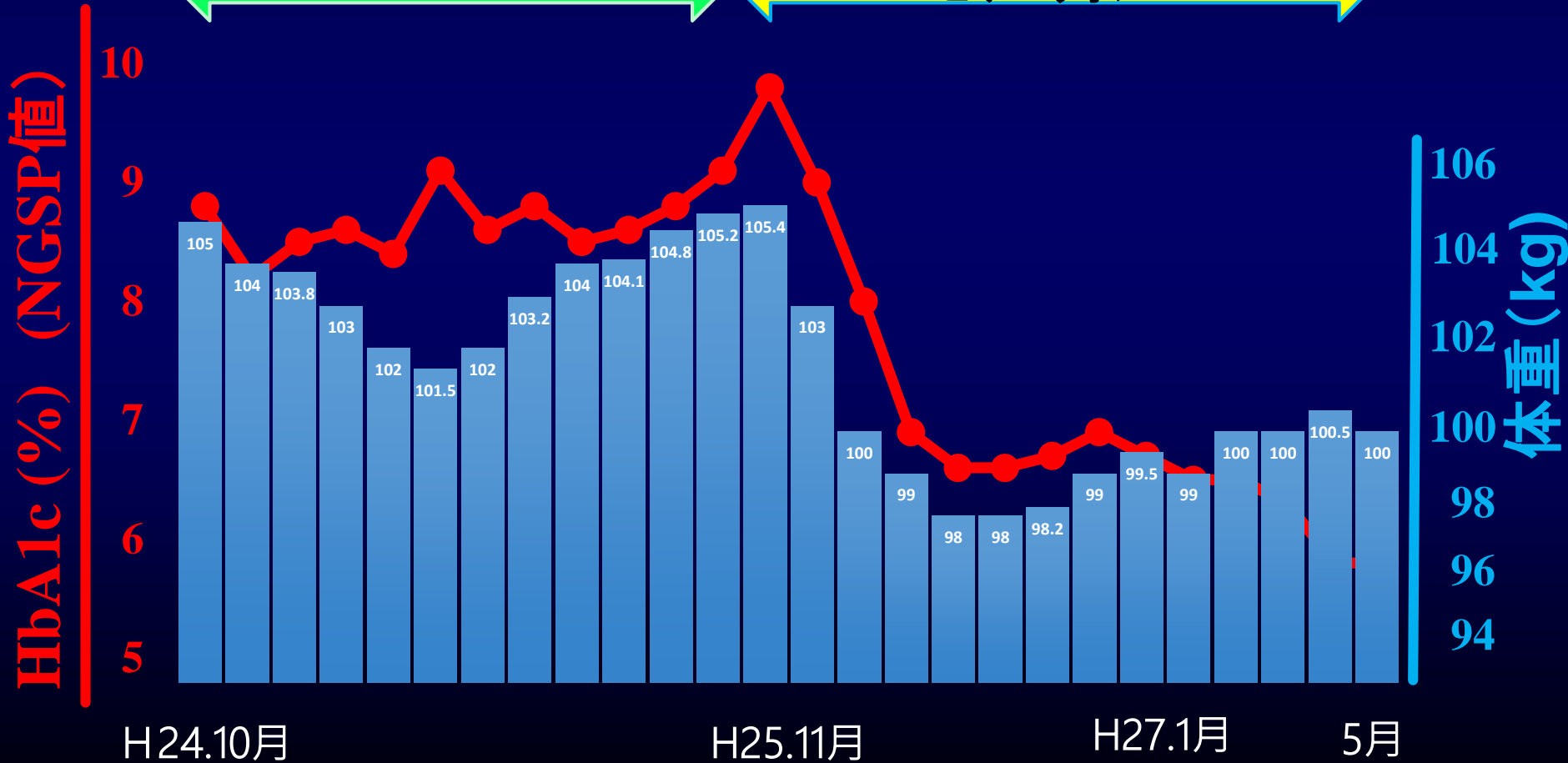
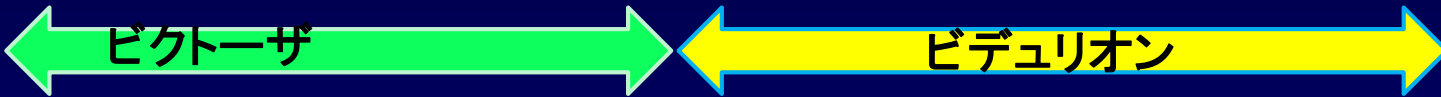
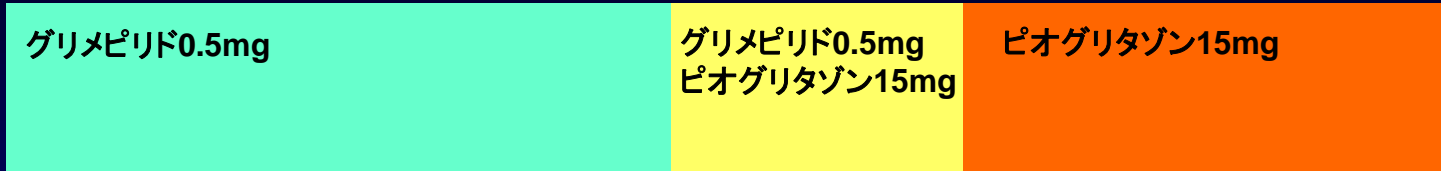
HbA1c 8.8% (H24.10) ⇒ 9.1% (H25.4) ⇒ 9.1% (H25.11)

BW 105kg (H24.10) ⇒ 101.5kg (H25.4) ⇒ 105.2kg (H25.11)

Case 6 32歳女 BMI 27.8kg/m² (ビクトーザ⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 6 32歳女 BMI 27.8kg/m² (ビクトーザ⇒ビデュリオン切り替え例)



Case 6 の 要約

- GLP-1製剤ビクトーザ注射にても糖尿病コントロール不良
(HbA1c10%以上)



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院に切り替え
(本人は注射しなくてよい)



- HbA1c5%台に改善、5kgの減量に成功

症例 7

DPP-4阻害薬⇒ビデュリオン⇒
ビデュリオン+SGLT2阻害剤併用例

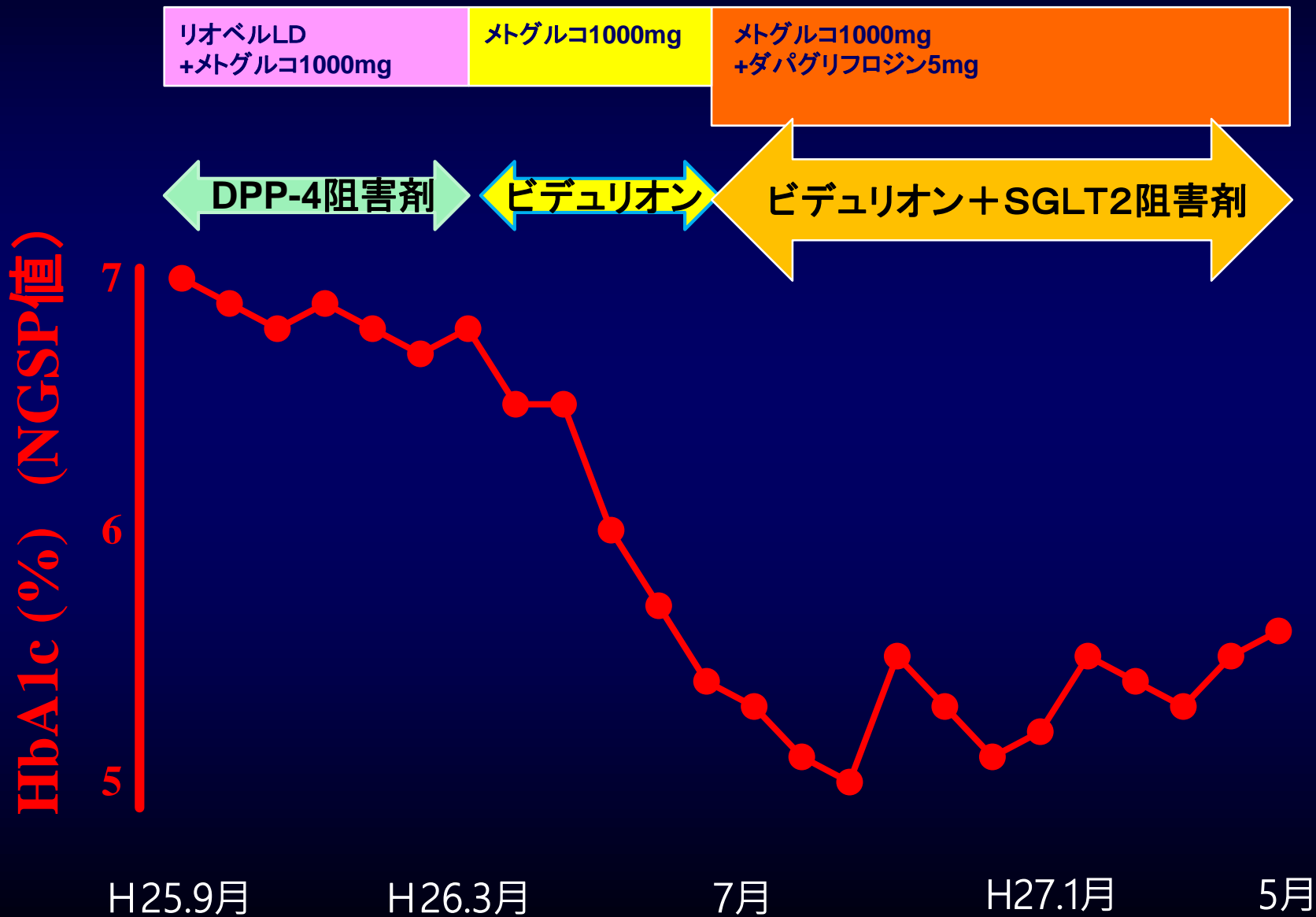
27歳 女性
糖尿病罹病期間3年

- ・ **主訴: 食欲コントロールできず**
- ・ 身長: 158cm
- ・ 体重: 85.1kg
- ・ **BMI: 34.1kg/m²**
- ・ **HbA1c: 6.8%**
- ・ **CPI 1.8**
- ・ **S-CPR 2.7ng/ml**
- ・ LDL-C: 110mg/dl
- ・ BUN: 12.2mg/dl
- ・ Cre: 0.4mg/d
- ・ 尿Alb 3.6mg/g・cre
- ・ 網膜症(-)、神経障害(-)、腎症(-)
- ・ 合併症: 脂質異常症
- ・ DM治療: リオベルLD、メトグルコ1000mg
- ・ 合併症治療薬: コレバイン
- ・ 現病歴:

BW 84.8kg (H26.1)⇒85.1kg(H26.3)

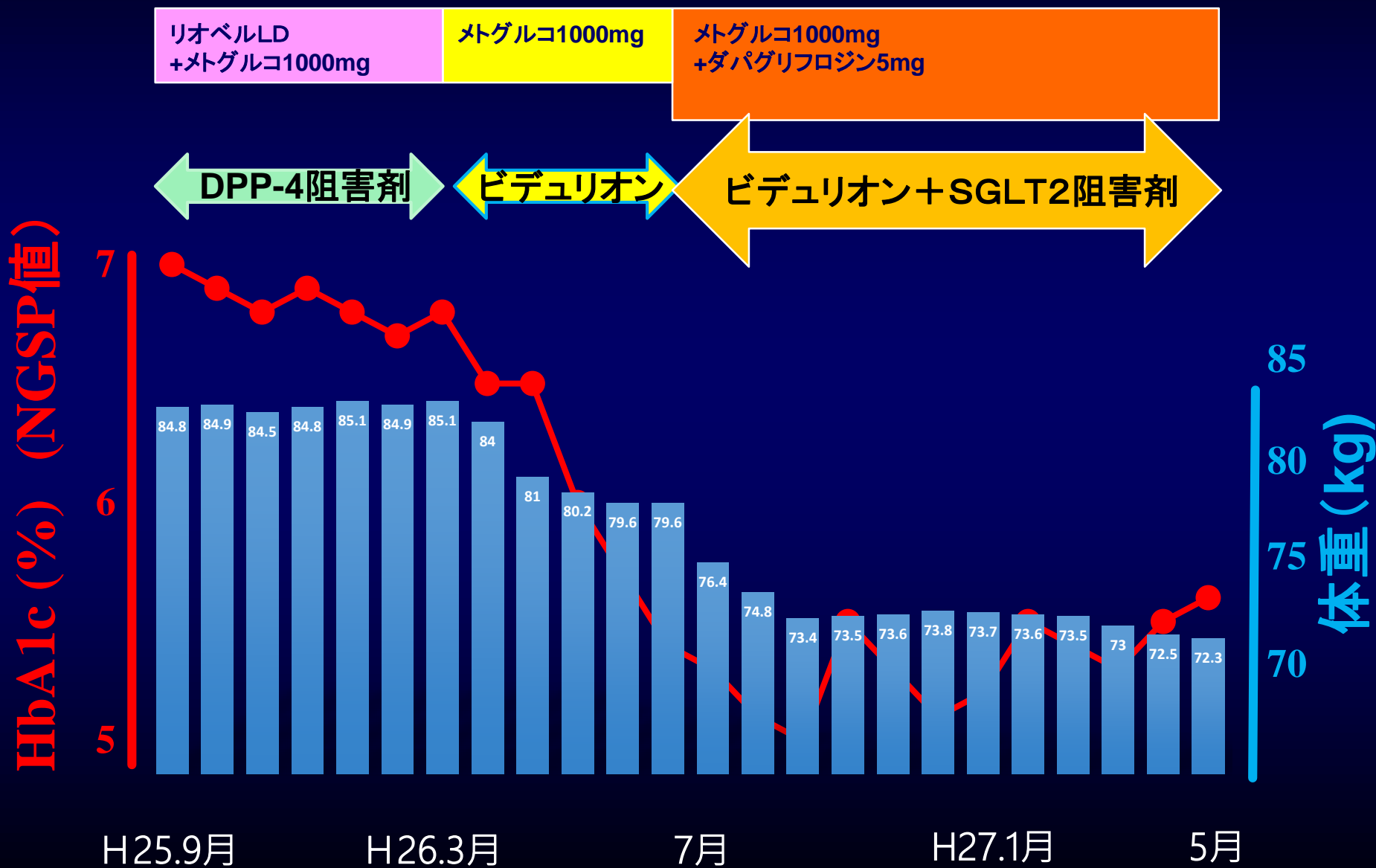
Case 7 27歳女 BMI 34.1kg/m²

(DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン⇒ビデュリオン+SGLT阻害剤)



Case 7 27歳女 BMI 34.1kg/m²

(DPP-4阻害剤⇒ビデュリオン⇒ビデュリオン+SGLT阻害剤)



Case 7 の 要約

- DPP-4阻害薬を含めた経口血糖降下薬服用でも減量できない



- クリニックで週1回のビデュリオン注射に通院に切り替え
(本人は注射しなくてよい) + SGLT2阻害剤併用



- HbA1c5%台に改善、13kgの減量に成功

ビデュリオンの使用が積極的に勧められる条件

内因性インスリン分泌が残存している

DPP-4阻害剤を含めた多剤内服治療でコントロールが不十分

食後高血糖よりも空腹時高血糖の関与が強い例

肥満例 (BMI 25以上)

食事・運動療法で体重コントロールがうまくいかない例

ビデュリオンは週1回だけの注射。



ビジネスマン

出張でも
注射の事が
気にならない。



タクシードライバー

非番の日に
注射を
一回すればいい。



仕事をしている主婦

仕事のない
土曜日に注射する
だけなのがいい。



アクティブシニア

旅行中に注射の事が
気にならない
のがいい。